

平成 29 年度職員採用選考試験（獣医師）  
専門記述試験（29. 6. 25）

＝ 課 題 ＝

○家畜伝染病について

近年、我が国での家畜伝染病の中で、鶏では高病原性鳥インフルエンザの発生が問題となっています。

特に昨年度は、国内における高病原性鳥インフルエンザが、9 道県 12 農場と過去最多の発生が認められました。本県でも警戒体制を執り、養鶏場に対して、飼養衛生管理基準の順守による発生防止対策の徹底を注意喚起し、必要に応じて立入指導を実施しました。

また、100 羽以上の養鶏場に対し、消石灰を配布し、一斉消毒をする等の発生防止対策を講じました。

一方、牛ではヨーネ病の発生が問題となっています。

全国での牛のヨーネ病の発生状況は、乳用牛と肉用牛を合わせると平成 18 年の 1,179 頭をピークに減少しているものの、平成 28 年になっても依然として 600 頭を超える発生が認められています。

本県においては、乳用牛のみ検査しており、平成 16 年に 26 頭の発生をピークに減少し、平成 26 年及び 27 年は、発生が認められませんでした。平成 28 年に再び 1 頭の発生が認められたことなどから、最近では、肉用牛の検査も求められてきています。

次の質問全てについて、できるだけ詳しく記述しなさい。

- 1 高病原性鳥インフルエンザの国内への侵入経路について
- 2 牛のヨーネ病の臨床症状と診断方法について
- 3 飼養衛生管理基準の目的と内容について